

## カルファリードカプセル0.5の 生物学的同等性試験

### 1. 試験目的

カルファリードカプセル0.5は、アルファカルシドールを主薬とするCa<sup>2+</sup>骨代謝改善 1,25-(OH)<sub>2</sub>-D<sub>3</sub>製剤である。今回、本製剤の生物学的同等性試験を実施したので報告する。

### 2. 試験方法

被験者：健康成人男子

投与方法：クロスオーバー法 水100mLと共に絶食単回経口投与

投与量：6カプセル(アルファカルシドールとして3μg)

標準製剤：中外製薬(株)製造 アルファロールカプセル0.5μg  
(現在の製造販売名・会社と異なる場合があります)

試験実施期間：昭和63年3月20日～昭和63年6月18日

測定対象：血清中活性化代謝物(1,25-(OH)<sub>2</sub>-D<sub>3</sub>)濃度(投与前の濃度を引いた補正值)

測定方法：ラジオレセプターアッセイ(RRA)法

### 3. 試験結果

得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。(投与前の濃度を引いた補正值)

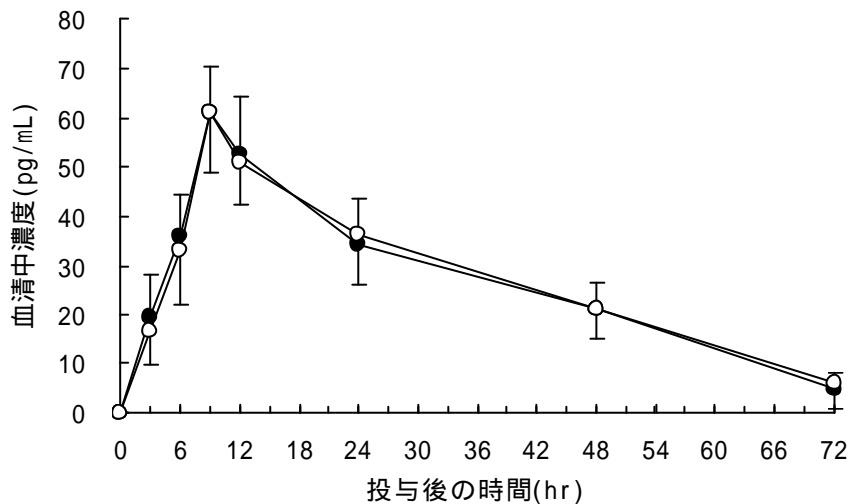


図1 平均血清中濃度推移

○：自社製剤、●：標準製剤、n=10、平均±標準偏差

表1 薬物動態パラメータ(n=10、平均±標準偏差)

	投与量(μg)	AUC <sub>0-72</sub> (pg·hr/mL)	Cmax(pg/mL)	Tmax(hr)	T <sub>1/2</sub> (hr)
自社製剤	3	1950.5±237.6	64.7±7.6	9.3±1.7	19.0±2.8
標準製剤	3	1926.7±384.3	65.0±1.0	9.6±1.3	19.3±5.7

AUC<sub>0-72</sub>：0～72時間の血清中濃度 - 時間曲線下面積、Cmax：最高血清中濃度

Tmax：最高血清中濃度到達時間、T<sub>1/2</sub>：消失半減期

表2 同等性の判定結果

項目	Cmax	AUC <sub>0-72</sub>
母平均の比	1.00	1.02
90%信頼区間	log(0.90)～log(1.12)	log(0.92)～log(1.14)
判定基準 log(0.80)～log(1.25)	適合	適合

図2 各被験者の血清中濃度推移(投与前の濃度を引いた補正值)  
 ○ : カルファリードカプセル0.5、 ● : アルファロールカプセル0.5 $\mu$ g

